1学期終業式
1学期の終わりにあたり私から３つのことをお話ししたいと思います。
１つめは「校歌」についてです。先ほど、皆さんが歌ってくれた校歌ですが、先日、敦賀市総合運動公園野球場において聞くことができました。私はここ４年コロナ禍もあって、なかなか校歌を耳にすることができませんでしたが、初めて校外で校歌を聞き、とても感動しました。野球部の皆さん、ありがとう。そして、１勝おめでとう。よく頑張りました。
さて、校歌ですが、歌には不思議な力がいくつもあると私は思っています。１つは歌う人にも聴く人にも喜びや悲しみ、励ましや癒しを与える心理的な効果があります。歌うことでストレスを軽減し、心身のリラックスや気分の高まりをもたらします。２つめは、人々を結びつける力があります。集団で歌うことは、コミュニケーションやチームワークを促進し、共通の興味や文化を共有する機会となります。他にも脳の活性化や集中力を高めたり、身体の運動や呼吸を整えたりもしてくれます。これまでなかなか歌えなかった校歌ですが、ぜひ機会あるごとに「校歌」を歌って、三国高校生としての気持ちを高めてほしいなあと思っています。
２つめは学校祭についてです。すでに３年生はロングホームの時間などを通して、学校祭に向けた準備を始めており、今日もこの後打ち合わせや活動を予定しているところもあると思います。
その学校祭準備にあたり、一つ心に留めておいてほしいことがあります。それは「誰の仕事でもない仕事」を進んで引き受けて欲しいということです。
皆さんは、それぞれの部門や企画で役割分担して準備を進めていることと思いますが、その中で必ず「その仕事は誰が担当するのか」という、当初は予定していなかった仕事や役割が出てきます。その時に、「それは自分の担当ではないから、知らない」と考えるのか、それとも「担当ではないが引き受けよう」と考えるのかでその仕事の進捗や完成度が大きく変わってきます。
このことは学校だけにとどまりません。社会においても仕事を円滑に進めるために、誰かがこの「誰の仕事でもない仕事」を引き受け、仕事と仕事、人と人とをつないでいるのです。
皆さんの中で、１人でも多くの人が「誰の仕事でもない仕事」を引き受け、仕事と仕事、人と人とをつないでくれることを期待しています。
３つめは「Agency」という言葉を紹介します。OECDという組織を知っていますか。経済協力開発機構という国際機関で、日本も1964年から加盟しています。この機関は加盟国の経済成長や開発・貿易の拡大を目的としていますが、教育に関しても国際調査を実施したり、これからの教育について提言したりしています。そのOECDが生徒の皆さんに身に付けて欲しい力として「Agency」という能力を掲げています。この言葉は日本語ではまだ明確に定義されていないのですが、「責任を持って、主体的に社会を変えていこうとする意志」といわれています。
三国高校では「総合」や「文化資源探究」「環境資源探究」などの授業を通して、地域の様々

な皆さんの協力を得ながら、探究的な学習を進めていますが、これを通して皆さん一人ひとりの中に「Agency」を育んでいくことを目指しています。「地域の課題を自分事として考え、課題の解決方法を提案し、できることから実行していく」という学習活動はまさしく「Agency」の理念に沿うものです。
１学期の始業式で本校が目指す４つの漢字を紹介しました。そして今日お話しした「誰の仕事でもない仕事」をすることも、自分事として責任を持って引き受けるという点において「Agency」に通じると思っています。
皆さんには今日お話しした３つのこと、「校歌」と「誰の仕事でもない仕事」「Agency」ということを心に留めて、明日の夏休み、毎日の生活を、三国高校生として充実したものにしてください。